

ブリッジ BRIDGE



社会福祉法人 ゆうかり

84

05
2025



● 特集 『第62回社会貢献者表彰を受賞いたしました』

● 木下大サーカス 他
〈ゆうかり学園〉

● 節分、お別れ遠足 他
〈ゆうかり保育園〉

● はたちの祝い新成人の門出を祝う会、鹿児島水族館 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

「第62回社会貢献者表彰を受賞いたしました」

2024年12月2日に公益財団法人社会貢献支援財団(安倍昭恵会長)から、表記の表彰を受けました。社会貢献者表彰は、人びとや社会のためにつくされた方を表彰し、日本財団賞を贈られるものです。更生保護法人 草牟田寮の深野木 信 理事長からご推薦いただいたご縁です。

お礼の意を込めた手記原稿を転載させていただきます。

この度は、栄誉ある社会貢献者表彰を賜りまして、誠にありがとうございます。

当法人は、祖父が昭和42年にはじめた知的障害のある方を支援する施設を経営しております。令和4年に亡くなった父が家庭裁判所からの少年の受託(少年法第25条第2項第3号に係る補導委託の事業)を30年前からはじめており、わたしの代になってからはじめた保育園等でも受託しております。

引き受けてくれている当法人スタッフのおかげでいただいた賞ですが、何よりも亡き父の功績ということで今回は母と一緒に表彰式にお伺いいたしました。

令和6年のNHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」の寅ちゃんのモデルである三淵 嘉子さんが取り組んでこられたように、少年たちの笑顔を、障害のある方々や子どもたちが引き出してくれる気がして、そのつなぎ役をさせていただいております。

犯罪が複雑化、凶悪化してきている昨今、少年犯罪も例外ではありません。犯罪心理学の専門家ではありませんので勝手な推論ですが、罪を犯してしまう人に共通するのは自己肯定感の低さ、人を思いやる心の欠如、のような気がしています。もしかしたら、親御さんをはじめ、人から優しくされた経験や愛されていると実感することも少なかったのかもしれない。

彼らの周囲の大人たち、社会環境は、容赦ありません。非行少年と呼ばれてしまう彼らは、その大人たちや社会によって生み出されたのだと思います。その彼らに、私たちは、信じていい大人もいる、頼っていい社会がある、ということを伝えなければなりません。しかし、それは一朝一夕ではかきません。

知的障害のある方々の純真な笑顔。聞き取れないかもしれないけど何かを伝えようと発することは。それらを同じ空気を吸いながら、同じ釜の飯を食べながら、一緒に過ごしていくうちに、いつのまにか、じわじわと何かが染み入っていくのです。保育園の子どもたちからも同様に。



そうこうしているうちに、彼らの心の中のものなにかが動く気がするのです。

受託期間が終わるころには、心なしか、彼らの表情が柔らかくなっているように感じます。受託機関としては、その後、彼らと連絡を取ることはできないのですが、過去には、利用者のみなさんと約束したから、と地域の運動会に顔を出してくれた少年や、最近では、クリスマスプレゼントとしてお菓子を届けてくれた少年もいます。

優しい気持ちをつなげていくこと、笑顔をひろげていくこと、これからもつづけてまいります。

「あなたの笑顔はみんなをHAPPYにする!」

社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流源彦





おすもう、負けないぞ!



温泉に行ってポッカポカ。



楽しいけど、さむい〜



セットを注文しました!



一番好きなんですもの。



ひな祭り飾り、うまく作れました。



素敵なお雛様!



ぜったい、当ててやる!



狙いを定めて!



デザートバイキングって
悩んだよなあ。



ほっぺたが落ちそうだ〜



サーカス会場にて。



開演前、ドキドキ。



すごい技だなあ〜



美味しいなあ。

木下大サーカス

少し寒い2月でしたが、利用者の皆さんとサーカスに行きました。巨大なテント小屋の暗い入り口を抜けると別世界!みなさん目を白黒させていました。ピエロのショーや空中ブランコ、ライオンや象の演技。圧巻は、巨大金網のボールの内側を複数のオートバイが縦横無尽に加速して回転して見せてくれました。皆さんとサーカスに行って良かったと温かい気持ちに包まれながらバスに揺られ帰園しました。

writer:川田 晃一

アメニティーフォーラム

2月6日から9日の3泊4日、滋賀県で行われたアメニティーフォーラムに参加しました。運営として裏方での参加でしたが、今まで触れてきたことのない話を聞けたり、自分になかった新しい考え方に触れることができたりと、とても素晴らしい経験を得ることができました。ここで得た経験をしっかり自分の中で昇華し、今後の支援に活かしていけたらと思います。

writer:有馬 大貴



2月3日節分・豆まき



お、おに〜泣



鬼はそと〜!



大丈夫だよ。



3月7日 お別れ遠足



公園にいったよ!



さくらんぼ組さんは



水族館に行きました



大きい組さんは



吹上浜海浜公園に行きました



楽しい!!



キヤー(≧▽≦)



3.15 卒園式



保育園ですごした日のこと



わすれないでね。

行事を通して感じる成長

ゆうかり保育園の毎年の恒例行事「節分」。今年も鬼さんがやってきました。鬼の登場に涙の出る子もいましたが、今年一年の健康と幸せを願い悪いものを追い出そうと、勇気を出して豆を投げる姿が見られました。伝統的な行事を知り親しむ機会を大切にしながら子ども達と元気いっぱい過ごしていきたいです。皆様が健康で幸せに過ごせますように!

writer:川崎 めい

お別れ遠足で感じた子どもたちの成長

絶好の遠足日和。いちご組はしっかりとお散歩リングを握り、楽しそうに第二中央公園へと歩きだし、続いてたんぽぽ組数人も、大人と手を繋ぎ嬉しそうに歩いていきました。澄み渡る青空の下、広い敷地内を駆け回り元気いっぱい遊んだ後、帰りも変わらず力強く歩く姿に、子ども達って凄いなあと思いました。これからまたどのような成長を見せてくれるのか楽しみな一年が始まります。私自身も共に成長できたらと思っています。

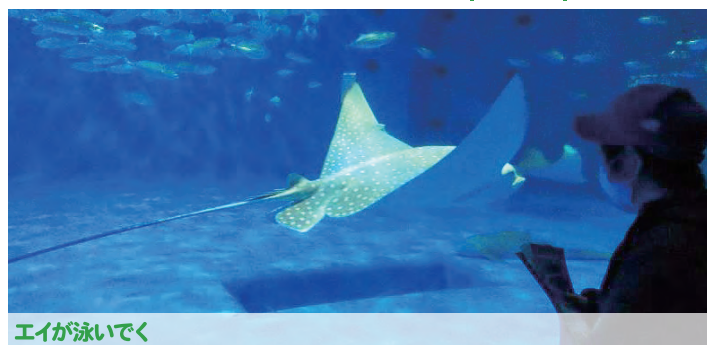
writer:安井 昌代



いつもと違う装い



笑顔がキュート♡



エイが泳いでく



みんなでお祝い



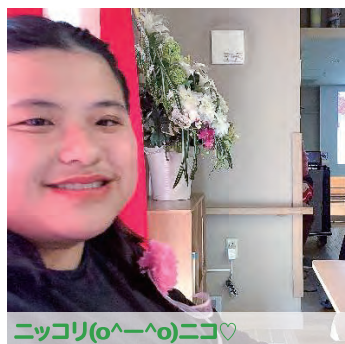
感極まって!?



これはどこにいたかなあ?



いっぱいいるね



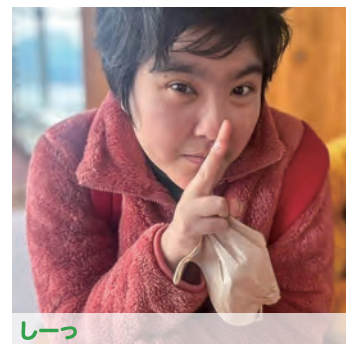
ニッコリ(o^へ^o)ニコ♡



ケーキもおいしそう(´▽´)



この本、おもしろいよ



しーっ



おめでとうございます。



静かで落ち着くなあ

はたちの祝い新成人の門出を祝う会

2025年新成人を祝う会が、各地で執り行われていました。生活介護事業所ぱすてるでも、今年新成人になられた方がいらっしゃいました。新成人になられた木下亜沙美(きしたあさみ)さん、少し恥ずかしがり屋ですが、いつも笑顔で周りを楽しませてくれる素敵な方です。1月20日に執り行ったはたちの祝い新成人の門出を祝う会では、少し照れくさそうにしながらも、その日はおしゃれをして来てくださいました。みんなに祝ってもらったことをとても喜んでおり、素敵な思い出になったのではないのでしょうか。 writer:溝下 壮太郎

土曜開所

2月の土曜開所では、鹿児島水族館へ出掛けました。土曜日のため人は多かったです。水族館内のいろいろな魚や生き物を見たり、イルカショーを見たりして楽しまれていました。3月は県庁の展望デッキに出掛けました。展望デッキにある読書スペースでは興味のある本を木のお部屋のような席に座ってみたり、窓から近くの運動競技場などの景色を見たりして過ごしました。今後も普段とは違う外出活動を計画してまいります。

writer:古下 希



研修報告 強度行動障害支援者研修

強度行動障害支援者研修を受けさせていただきました。研修の中では、私たちが利用者支援をしていく中で感じる困りごとに対する解決策のヒントをたくさん得ることができました。利用者の皆さんはそれぞれ、様々な個性をお持ちです。時にはその特性やこだわりによって、困った行動とみなされてしまうことがあります。私たちが関わりや支援方法を工夫することで、その特性を本人の『強み』に変えることができます。個性を尊重し、その方に合った関わりをすることで、のびのびと

落ち着いた生活を提供することができます。今回の研修で、利用者の皆さんの人生をより良いものにするお手伝いができる私たちの仕事に改めてやりがいと責任を感じ、普段の支援の中でも、より多角的な視点を持つことができるようになりました。どのような関わり方をすれば、その方の人生を輝かせることができるのか。支援に携わる周囲の皆で考え、統一的な支援につなげる。その重要さを今回の研修で改めて感じました。

writer: 松元 直樹

お祝い

**二十歳を迎えました。
おめでとうございます！**



Kさん



Kさん

長寿祝い

**還暦を迎えました。
おめでとうございます！**



還暦
Aさん S40

入職

よろしくおねがいします

● ゆうかり保育園

保育士／酒井 菜那

保育士／川崎 優李

保育士／野副 可純

保育士／園田 勝章

保育士／大園 昂季(非正規→正規職員へ)

退職

お世話になりました

● ゆうかり学園

サービス管理責任者／吉永 和弘

生活支援員／佐竹 二郎

● ゆうかり保育園

保育士／餅原 舞

「令和7年度 事業計画について」

社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流源彦

新年度の事業計画・予算について、3月28日の理事会にて審議・可決されました。詳しくは法人ホームページ⇒法人概要⇒経営報告をご参照ください。

【岡之原エリア】

新規入所利用予定を含め、基盤の安定に向けて努力を続けているところです。一方で、高齢化に伴う認知症症状の方や、病状の安定しない状態での対応困難事例等を抱えながらの日々の支援が続いており、宿直・夜勤のできる女性スタッフの不足と相俟って厳しい状況が続いています。

ハード面の整備(グループホーム)については、リース会社を通して建築することにより、建築コストを要さない方法を検討してきたが具体的な動きにつなげていくこととします。また、ICTの活用、介護負担を軽減する様々な手法を先行法人への視察を含め、具体的に導入準備に入ります。

【草牟田エリア】

厚生労働科学研究「地域生活支援拠点等における地域移行を進めるための役割及び緊急時の対応における役割の明確化のための研究」への協力をとおして、地域生活支援拠点等が担うべき役割についてさらに研鑽を続けていきます。

拠点コーディネーターの本格配置に向けて、相談支援専門員の年度途中での増員を図りつつ、連携協定法人とのさらなるネットワーク構築につとめます。

新年度4月より、鹿児島市障害者基幹相談支援センターの共同事業団に鹿児島市社会福祉協議会が加わることとなり、総務・経理部門を担ってくれることにより基盤の安定化が図られることとなりました。4年後(令和10年度)から基幹への出向予定となっていることも考慮しつつ、人材育成・確保に努めます。

草牟田エリアにおける事業安定・拡大についても、地の利を活かしつつ近隣の賃貸物件の活用を視野に入れながら、ニーズに沿った支援体制の構築を図り、収入アップの足掛かりとします。

【上福元エリア】

新卒者3名を含む5名の正規保育士の加入により、受け入れ児童数の増加見込みにより、数年ぶりの赤字脱却を目指します。

保育士養成校からの実習生のうち3名が就職につながったことを強みとして、今後も学生への丁寧な対応を心掛け、就職したくなる職場の雰囲気を持続します。また、子育て中、介護中、すべてのスタッフが働きやすい職場の雰囲気を持続しつつ、長く勤めてもらえる現場を目指します。

医療的ケアの必要な児童の受入れに対して、訪問看護(市の助成金対応)の活用によって、新たに1名(計2名)の児童受け入れとなります。

毎年新たな門出に訪れてくれる卒園生が、これからも、それぞれの入学式、卒業式、成人の集いに笑顔をみせにきてくれ続けることを楽しみにしていきます。

【総括】

今回で4回目となる権藤説子さんのご厚意によるバリアフリー演劇公演については、1月に鹿児島市内の会場にて開催させていただく予定ですが、目標額を設定し、自己資金を捻出する予定です。各企業・個人・有志からの協賛金をはじめ、バリアフリー演劇ならびに当法人の目指す共生社会に賛同していただく方を増やす機会とします。

全国地域生活支援ネットワークの活動、一般社団法人 東京演劇集団風研究所の展開に加えて、地域生活支援拠点等を中心とした共生社会を目指す全国協議会(ホトギスの会)にも積極的に関わらせていただきつつ、法人内スタッフの研鑽の場としても活用していきます。

2027年に控える、ゆうかり学園60周年、ゆうかり保育園20周年、地域生活支援拠点ゆうかり10周年を盛大に祝えるよう、法人内外の協力を求めつつ安定基盤の再構築に注力します。具体的な動きとして、60周年記念誌を今までにない視点で企画・編集することとし、理事メンバーの全面協力のもと、全国地域生活支援ネットワークの事務局次長の御代田太一氏にお力添えいただくことにします。

これまでとこれから、想いをつなぎつつ次の展開を模索する年度としていきます。

引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

記録写真を見ながら利用者の皆さんや職員との新たな気づきに感動した季刊誌の担当は、あっという間の1年でした。写真とともに自分も笑みがこぼれるひと時となっていました。そして、この号を編集している時期は、春の訪れとともに、出会いと別れの季節となっています。皆様との深いつながりを、改めて感じています。新年度も皆様に喜んでいただけるような記事作りをしていきますので、益々のご協力と、とびきりの笑顔をよろしくお願い致します。皆様の新しい門出が、素晴らしいものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。

writer: 宇都 大作



= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌳 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
5月	誕生者外出	10日 親子遠足 14日 避難訓練 21日 内科検診 22日 食育・クッキング	誕生会 買い物実習 土曜開所2回 豪華客船見学
6月	誕生者外出	4日 避難訓練 11日 食育・クッキング 14日 職員研修	誕生会 避難訓練 買い物実習 土曜開所2回 そんたdeマルシェ2025
7月	誕生者外出	2日 避難訓練 9日 食育・クッキング 19日 お泊り保育	誕生会 土曜開所2回 七夕 水遊び(川・海)

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 宇都 大作・塚田 詞子(ゆうかり学園) 甲斐 静華(ゆうかり保育園)
溝下 壮太郎・古下 希(地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

